

平成20年9月2～3日の豪雨災害が久瀨地域に残したもの

平成20年9月2～3日の豪雨は、久瀨地域にも大きな災害をもたらしたことは、まだ、皆さんの記憶に新しいものと思います。もちろん天災には太刀打ち出来ませんが、より小さな被害にする手段はないのでしょうか？

災害の爪あとをごらんになり、これを教訓に皆さんも少し考えてみてください。

【写真提供 越美山系砂防事務所】

災害のつめあと



久瀨トンネル付近・町道から



久瀨トンネル付近



久瀨トンネル付近・入口上部より



久瀨トンネル付近・国道から



久瀨トンネル付近・下谷上流から



小津トンネル入り口

災害を少なくする対策の一つとして、『間伐をして森を豊かにしましょう!』

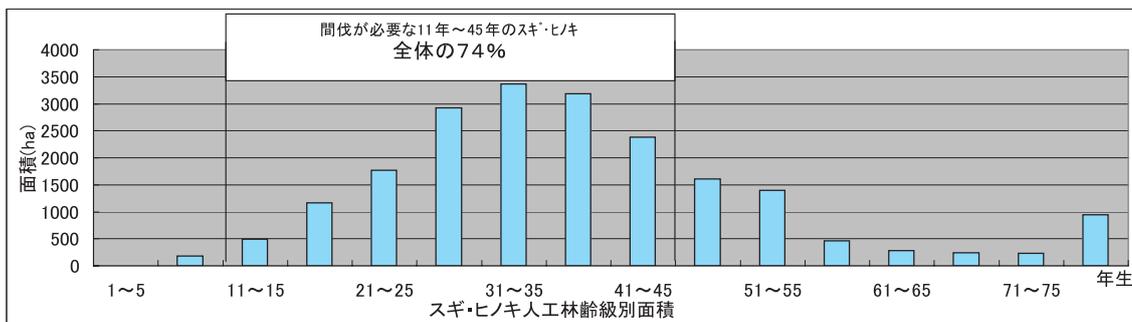
間伐をしないと、林内に光が入らないため、下草が生えない。このため、森林内の土が流されて石などがむき出しになり、木の根が現れてしまい、水源かん養の機能が低下します。

また、木が太くならずひょろひょろの細長い木となり、風や雪によって倒れやすくなってしまいます。さらに根から倒れるとそこから浸食が始まり土砂崩れの原因となり、森林の山地災害防止の機能が低下して、危険な状態となってしまいます。

揖斐川町のスギ・ヒノキの人工林21,190ヘクタールの内、間伐が必要な11年生から45年生の森林は、15,354ヘクタールもあります。

岐阜県・揖斐川町・森林組合では間伐を推進していますが、平成20年度に間伐を実施したのは、わずか1,000ヘクタール程度に過ぎず、災害に強い森林を作っていく為には、もっと積極的に間伐を実施していく必要があります。

健全な森林を作るために、県・町をあげて皆さんを応援しています。いろいろな補助制度がありますので是非、お気軽にご相談ください。



【お問い合わせ先】 森林林業について、また、補助制度の採択要件や間伐のご相談等、お気軽にお問い合わせください。
揖斐川町農林振興課 (TEL 22-2111) ・揖斐郡森林組合 (TEL 22-6511) ・揖斐農林事務所林業課 (TEL 23-1111)

揖斐川森林だより
これからの森林づくりのために

【第23回】「久瀨地域の被災状況について」(揖斐川町森林づくり推進会議事務局)